

団体名：一般社団法人ドラマシアター
 事業名：演劇界のハラスメント防止モデル構築と若者支援事業
 ～豊橋第9回演劇公演『ジャック』を通じて～

事業計画書

①事業の区分 (該当する事業にチェック)	(1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 <input type="checkbox"/>	(11) 国際協力を行う事業 <input type="checkbox"/>
	(2) 社会教育の推進を図る事業 <input type="checkbox"/>	(12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 <input type="checkbox"/>
	(3) まちづくりの推進を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>	(13) 子どもの健全育成を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>
	(4) 観光の振興を図る事業 <input type="checkbox"/>	(14) 情報化社会の発展を図る事業 <input type="checkbox"/>
	(5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業 <input type="checkbox"/>	(15) 科学技術の振興を図る事業 <input type="checkbox"/>
	(6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>	(16) 経済活動の活性化を図る事業 <input type="checkbox"/>
	(7) 環境の保全を図る事業 <input type="checkbox"/>	(17) 職業能力の既発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 <input checked="" type="checkbox"/>
	(8) 災害救済事業 <input type="checkbox"/>	(18) 消費者の保護を図る事業 <input type="checkbox"/>
	(9) 地域安全事業 <input type="checkbox"/>	(19) 公益的社会貢献活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 <input type="checkbox"/>
	(10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 <input checked="" type="checkbox"/>	(20) 前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県の条例で定める事業 <input type="checkbox"/>
②現状把握・分析・事業目的 必要性	<p>現状把握・分析 現在、地方の演劇文化は東京一極集中にあります。当団体では逆転現象が起きており、公演参加者の半数以上が首都圏からの志願者です。東京の生活コスト高騰に疲弊した若者が、豊橋市の「安価な滞在環境」と「充実した文化施設」に魅力を感じ、創作に没頭できる場を求めています。また、昨今の演劇界ではハラスメント問題が問われていますが、既存のアマチュア活動には、深い人間ドラマや社会問題を扱う際の安全を守り切れる制作体制やガイドラインが欠如しているのが現状です。</p> <p>事業目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全な創作モデルの実証: 人間の尊厳や暴力をテーマにした高難度の作品において、法人としてハラスメント防止指針を厳格に運用し、出演者の心身を守りながら高い芸術性を実現するモデルを構築します。 滞在型創作環境の確立: 東京に依存せず、豊橋で質の高い演劇を創作・発信し、若者が地方に留まりながら活動できる「新しい地方劇団モデル」を構築します。 社会課題の発信: 演劇を通じて「暴力の否定」や「個人の尊厳」を市民に問いかけ、文化芸術による人権意識の啓発に寄与します。 <p>私たちdramatheatreは、前回の豊橋公演『父と暮せば』(令和7年度市民協働推進補助事業)において、戦争と平和という「歴史的・普遍的な社会課題」に向き合い、市民の皆様と対話の場を創出しました。今回上演する『ジャック』ではアプローチを大きく変え、情報過多なSNS社会で若者たちが直面している「コミュニケーション不全」や「自己喪失」という「現代特有の社会課題(心の闇)」に、心理サスペンスという前衛的な演劇手法で鋭く切り込みます。表現の幅を広げることで、豊橋の舞台芸術のさらなる多様性創出に貢献します。</p> <p>このように、本事業で上演する『ジャック』は、現代社会における暴力の連鎖や断絶を鋭く描く内容であり、だからこそ、法人としての強固なガバナンス(統治)と安全管理体制が不可欠です。個人の運営では支えきれない精神的ケアを、組織として公的に行うことで、若者が搾取されず安心して表現活動に打ち込める環境(セーフティネット)を整備する必要があります。これは豊橋への人の流れを定着させ、若者の社会的孤立を防ぎ社会参画を実現するために、緊急かつ高い必要性があります。</p>	

③事業内容
(詳細) **実効性**

1. 第9回公演『ジャック』の制作・上演(社会派作品への挑戦)

- 【作品】: 人間の暴力性や尊厳をテーマにした劇作家・渡辺雄介氏の戯曲『ジャック』を上演します。
- 【手法】: 表現の深さを追求し、かつ青少年の健全育成に配慮するため、R18指定(ゾーニング)を設けた上で、大人の鑑賞に堪えうる質の高い舞台芸術として制作します。
- 【意義】: センシティブな内容を含むからこそ、事前のハラスメント講習や心理的ケアを徹底し、「どんな作品でも安全に作れる」という運営能力を実証します。

「安全な稽古場」モデルの実践と普及

- 定款およびハラスメント防止指針に基づいた、コンプライアンスを遵守した指導を徹底します。
- 【特性への対応】: ADHD等の特性を持ちながら、それを隠して参加する(あるいは自覚がない)ケースによるトラブルを防ぐため、オーディション時にきめ細やかなヒアリングを徹底します。
- 【継続的な協議】: 稽古期間中は、画一的な指導を行うのではなく、本人の特性に合わせてどのように対応すべきか、演出家とスタッフ間で協議を重ね、個別に最適なコミュニケーションと指導方法を模索・実践します。
- 対人関係や社会生活に困難を感じている若者に対し、出演だけでなく音響・照明・制作等の役割を付与し、チーム内での居場所と自己肯定感を醸成します。

「③ 事業内容」への追加案

- 「安全な稽古場モデルの実践」の項目に、以下のような具体的な仕組みを書き足します。
- 「心理的安全性」を確保する定期チェック
- 匿名アンケートの実施: 毎月、全参加者を対象に匿名のオンラインアンケートを実施し、演出や運営に対する懸念事項、体調、人間関係の悩みなどを吸い上げます。
- 個別フィードバック面談: 稽古の節目ごとに、演出家や制作スタッフが個別にヒアリングを行い、特性(ADHD等)に合わせたコミュニケーションのズレを解消し、心理的な負担を早期に発見・ケアします。

3. 観客の心理的安全性を確保する「鑑賞サポート」の導入 R18 指定の作品を公共の場で上演する責任として、観客が自身の精神状態に合わせて鑑賞を選択できる仕組みを導入します。

- 「センサリーマップ(事前刺激確認シート)」の配布
 - ① フラッシュバック等の精神的負担を防ぐため、暴力描写や大きな音が発生するタイミングを事前に可視化したシートを作成し、希望者に配布します。
- 「マイルド・バージョン(表現軽減回)」の上演
 - ① 会期中に数回、脚本のメッセージ性は維持しつつ、直接的な残酷描写を演出で抽象化・軽減した「特別公演」を設けます。これにより、HSP(感覚過敏)の方や、過激な表現に不安がある市民も安心して鑑賞できる機会を保障します。
- 「SOS席(途中退室優先席)」の設置と誘導
 - ① 観劇中に気分が優れない場合、周囲を気にせず即座に退室できる座席エリアを設定し、不安のある来場者を優先的に誘導します。

	事業期間	(事業着手日)	(事業終了日)	
		令和 8 年 3 月 1 日から	令和 8 年 12 月 31 日まで	
	実施日	内容	会場	参加者数見込
④スケジュール 実効性	3 月 1 日～4 月 30 日	毎週末リモートで読み合わせ・コンプライアンス研修基礎レッスン開始	オンライン	10 名前後
	5 月 1 日～30 日	「水の上」イベント参加・吉田文楽・汽水域などの地元の伝統芸能を学ぶ会、交流会開始。匿名コンプライアンスアンケート実施。	青少年センター等	10 名前後
	6 月 1 日～7 月 20 日	他県から参加者豊橋移住開始・引き続き豊橋での生活と交流会を開催・豊橋の生活を SNS で配信開始。匿名コンプライアンスアンケート実施。主宰者と 1 対 1 面談会を実施		10 名前後
	7 月 21 日～24 日	演劇公演開始	水上ビル「水の上」	300 名
	8 月～12 月	後片付け・精算・移住支援（希望者がいれば）。反省会を実施。	ドラマシアター事務所	10 名前後

<p>⑤周知方法・周知先</p> <p>実効性</p>	<p>本事業では、豊橋市全域を「クリエイターの創造性を刺激するキャンパス」と捉え、その多角的な魅力を市内外へ強力に発信します。</p> <p>SNS 発信の継続性を担保する契約体制：出演者と個別の出演契約を締結し、稽古期間から公演終了後までの広報活動(SNS 発信)への協力義務を明文化しています。これにより、途中で発信が滞ることのない、計画的かつ戦略的な情報発信を組織として保証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「豊橋まるごと」体験型 SNS 発信： <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域観光と食の発信：公演の稽古期間中、出演者やスタッフが市内の観光名所(豊川周辺、表浜、のんびりパーク等)を巡り、地元の豊かな自然や美味しい地元食材を堪能する様子をリアルタイムで配信します。 ○ 「豊橋暮らし」の疑似体験：東京に比べて豊かな生活環境や、安価で質の高い滞在環境、そして PLAT などの優れた文化施設をフル活用する日常を可視化します。 ● 「滞在型制作(アーティスト・イン・レジデンス)」のモデル発信： <ul style="list-style-type: none"> ○ 移住定住支援との連動：定款に掲げた「移住定住支援に関する事業」に基づき、実際に豊橋を歩き、街を好きになった若者たちの姿を通じ、県外からの「逆流現象」が単なる仕事ではなく「生活の質の向上」であることを訴求します。 ● 地域コミュニティとの深い接点作り： <ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統芸能・文化への敬意：吉田文楽の鑑賞や文化サロン汽水域での交流など、豊橋の歴史や伝統に触れる活動をコンテンツ化し、文化の厚みがある街としての魅力を全国の演劇ファンへ周知します。 ● プレスリリースの多角化： <ul style="list-style-type: none"> ○ 地方創生×演劇：「演劇を核とした関係人口の創出」という切り口で、観光・商工系のメディアへも情報を送付し、街全体の活力を高めるプロジェクトとして認知を広げます。
<p>⑥実施体制</p> <p>実効性</p>	<p>(実施メンバー)</p> <p>本事業の完遂に向け、代表理事が契約履行を統括し、メンバー全員で豊橋の魅力を発信するアンバサダーとして活動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 代表理事(統括・演出)：小菅かおり <ul style="list-style-type: none"> ○ 最高責任者として予算・演出・ハラスメント防止を徹底し、市外参加者への「豊橋案内」を主導します。 ● 監事：水谷順子 <ul style="list-style-type: none"> ○ コンプライアンス遵守と会計の透明性を厳格に監査し、組織の信頼を担保します。 ● 運営・地域コーディネーター：水谷真理、白井明子、夏山果恋、久保田直己 <ul style="list-style-type: none"> ○ 制作事務に加え、豊橋を満喫するための「市内ツアー」や「地産地消の交流会」を企画・実行します。 ● 舞台技術・安全管理：鈴木克嘉、加藤純一、小菅かおり(株式会社東雲座カンパニー) <ul style="list-style-type: none"> ○ プロの技術提供と徹底した安全管理により、「安全に表現できる街・豊橋」を体現します。 ● 地域協力パートナー <ul style="list-style-type: none"> ○ 水上ビル「水の上」：景観を活かした表現拠点として連携。 ○ 地元商店街・飲食店：食事提供や情報発信を通じ、参加者に「美味しい豊橋」を届けます。

事業計画書

<p>⑦事業が公共の利益に寄与すると考える理由及び事業実施による市民(地域)への波及効果 公益性・実効性</p> <p>⑧事業実施後の活動について 継続性</p>	<p>本事業は、演劇という手法を用いて「暴力」や「ハラスメント」といった現代社会の暗部に向き合い、その克服を模索する極めて公益性の高い取り組みです。また、社会生活に困難を感じている若者や多様な特性を持つ人々に対し「表現を通じた社会参画の機会」を提供することは、社会的包摂の観点からも重要です。●文化芸術へのアクセス保障「残酷描写の軽減回」や「事前の刺激告知」を行うことは、これまで演劇鑑賞をあきらめていた精神的な不調を抱える方や、トラウマを持つ方への「合理的配慮」となります。誰一人取り残さず、多様な市民が舞台芸術を楽しめる環境を作ることは、極めて高い公益性を持ちます。</p> <p>【市民(地域)への波及効果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 関係人口・定住人口の増加:東京からの参加者が豊橋のファンとなり、将来的な移住や二拠点居住の足がかりとなります(既に実績あり)。 2. 文化資本の向上:R18 指定を含む多様で質の高い演劇作品が地元で鑑賞できる機会を創出し、地域の文化的な成熟度を高めます。 3. 人材育成:「消費される役者」ではなく「自立したクリエイター」が育つことで、将来的に豊橋の文化芸術を支える担い手が増加します。 <p>本事業で確立した「安全な制作モデル」を基盤に、翌年度は有料ワークショップの定期開催やチケット収益の安定化を図り、自主財源比率を高めます。将来的には、この実績をもとに文化庁の「文化芸術による子供育成推進事業」等の国レベルの支援事業獲得を目指します。まずはくすのき補助金をステップに、豊橋市が「文化芸術による若者支援の先進地」として全国から認知されるよう、活動を発展させます。</p> <p>【持続可能な「社会的インフラ」として】私たちは、営利目的の興行団体ではなく、「非営利徹底型」の法人として、福祉・教育的な機能を持つ「文化インフラ」としての役割を担います。定款にも剰余金の分配を行わない旨を明記し、収益は全て若者の支援と事業の発展に再投資します。将来的に行政の委託事業や大規模な連携事業を安心して任せただけの信頼と実務能力を、この3年間で着実に構築します</p>
<p>⑨事業の創作的又は開拓的である部分 先駆性</p>	<p>東京では不可能な「安価な生活コスト」と「PLAT 等の豊かな演劇環境」を持つ豊橋だからこそ、若者がアルバイトに忙殺されず創作に没頭できる「逆流現象」を生み出せています。この地域特性を活かした滞在型制作は極めて開拓的です。また、演劇活動に「若者支援・福祉的視点」と「職業訓練的視点」をハイブリッドに組み込んだ運営モデルは、全国的にも稀有な先進事例です。</p>
<p>⑩事業で団体の持つ専門性が生かされている部分 専門性</p>	<p>代表理事の演出・プロデュース経験(過去 8 回の公演実績)に加え、連携企業(東雲座カンパニー)によるプロフェッショナルな舞台技術支援が得られる点が強みです。また、定款の事業目的にも掲げている通り、ハラスメント防止やアーカイブ作成に関する専門的知見を持つメンバーが運営に関わっており、R18 等の配慮が必要な作品においても、参加者の安全管理と高い作品性を両立できる高度な専門性を有しています。</p>